重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要な まちづくり の課題 (めざすべき姿)	公共施設の有効利用が図られている				
施策名	合併のメリットを生かした行政経営を行う	No.52 -2			

年度	平成27年度
責任部長	総務部長
主担当課長	行政課長
関係課	スポーツ課、施設所管課

1. まちづくり指標の現状

		指標の	現状値			実績値			目標値
まちづくり指標		めざす	H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		方向	H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
	①合併前の施設	<i>></i>	_	_	_	_	_	_	_
共施設の稼働率(%)			44.0	44.6	45.3	45.5			53.5
五 次 旭成學爾平(70)	②合併後の施設		_	_	_	_	_	_	_
			46.3	45.6	54.0	51.8			55.0
市民が公共施設を有効に利用していると思う人の割合(%)		~	45.2	47.3	47.2	48.8	48.1	45.6	53.4
			45.6	49.8	48.4	53.1			61.2
公共施設利用者の満足度 (※満足度を5点満点で評価)		~	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.5	3.9
			3.5	3.5	3.5	3.6			4.1

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間·NPO活動等)

公共施設のあり方について利用が少ない施設には厳しい目が向けられるようになっている。 指定管理者制度の導入によって公共施設への民間事業者の参入が増加している。 民間のスポーツ施設が、多種多様なニーズに応え利用されている。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価



公共施設の稼働率は横ばい状態であり、利用者の満足度も停滞しているので、より質の高いサービスを考える必要がある。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長其	月成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
施設の利便	単性が向上する	利用者が魅力を感じる事業の開催 が増加する		
施設運営の)見直し事業	公募指定管理者推進事業		
スポーツ施	設予約システム運営事業			
評価観点		ちづくりの課題(めざすべき姿)の一: は、長期成果を達成するのに必要-		ダブリなく設定されているか。
評価		用者と施設の両面から捉えられており いており、長期成果が導かれると考		i設の利便性の向上、運営面
次年度の 改善計画	公共施設利用者の満足	度は横ばい状態であるが、市としてに	は引き続き各事務事業を推進してい	きたいと考える。

総合計画推進市民会議による現状評価(※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の評価書」から転記)

評価		各指標とも停滞気味である。利用の手続きの簡便化や交通アクセスの向上など、稼働率アップに向けた施策が必要ではないか。
	停滞	